



# ちかこ 近二っ子



第8号 令和5年11月

## Well-Being(ウェルビーイング)な学校を



校長 嘉屋 裕美

早いものでもう師走です。冷え込みも冬本番となり、今年も残すところあと1ヶ月となりました。保護者、地域の皆様方におかれましては、ますますご健勝にてお過ごしのことと存じます。旭川市内の学校ではインフルエンザが流行し学級閉鎖が相次いで出ています。本校でも、一気にインフルエンザが広がり学級閉鎖を行いました。手洗い、うがいなど感染防止対策にご協力をお願いします。

さて、先月の認証式で子どもたちにこんなお話をしました。

### 「幸せ」について

皆さんの「幸せ」って何ですか。例えば、美味しいものを食べている時、好きなものを買ってもらった時、解けなかった問題が解けるようになった時など、いろいろな「幸せ」の形があると思います。



その「幸せ」を自分だけの「幸せ」ではなく、みんなで「幸せ」になることを考えて行動することを「ウェルビーイング」と言います。英語のWell(よい)とBeing(状態)が組み合わさった言葉で、「よい状態」つまり、「幸せ」な状態であるということです。

この、「みんなの幸せを考えて行動をしていきましょう」ということが、日本の教育の方針を決める「教育振興基本計画」に書かれてあり、国会で決まりました。

友達が幸せだったり、クラスや学校みんなが幸せだったり、あるいは家族が幸せだったり、地域が幸せだったり、そこにいる全員が幸せだったら、自分も幸せであり、みんな幸せです。

ウェルビーイング(みんなで幸せ)でいるためには4つの心が大切だと言われています。

1つめは「やってみよう」という心です。例えば、夢や目標をもつことや挑戦してみる心です。

2つめは「ありがとう」という心です。感謝や思いやりの心をもつことでみんなが幸せになります。

3つめは「なんとかなる」という心です。「どうせ、でも、だって」などのネガティブな言葉を口にしないで、なんとかなるの心で前向きに行動することです。

4つめは「ありのままに」という心です。自分らしく、自分と他人を比較しない(ありのままの心)を心掛けることです。

この4つの心で自分の幸せはもちろん、まわりの人の幸せもつくりだせるようになります。この4つの心は日々のちょっとした行動で高めていくことができます。ぜひ4つの心を意識して、みんなで「ウェルビーイングな学校」にしていきましょう。

### ご協力ありがとうございました

今年度、3回目になる秋の古紙・空き瓶回収を行いました。収益金は、全部合わせて

**22,160円**

になりました。例年たくさんの古紙・空き瓶回収をご提供いただき、保護者・地域の皆様のご協力に、心から感謝いたします。ありがとうございました。また、来年の春〔4月〕に行いますので、よろしくお願いいたします。

### 東鷹栖公民館第二分館共催

#### ☆PTA親子スキー教室☆

今年度も「東鷹栖公民館第二分館共催PTA親子スキー教室」を1月10日(水)9:45から開催する予定です。(コロナ・インフルエンザ感染拡大状況によって変更・中止の可能性有)

少人数で編成されたグループを、スキー場の指導員の方が丁寧に指導してくれます。初心者のお子さん、保護者の方など多くの参加をお待ちしています。詳細は後日案内の文書を配付しますので、よくお読みになって申し込みをお願いいたします。

◇日時 令和6年1月10日(水)  
9:45~

◇場所 ぴつぷスキー場(現地集合)  
※詳細は後日、文書でご案内いたします。

### PTA親睦・慰労会 11月17日(金)に実施しました。

保護者の皆様にご案内をさせていただき、4年ぶりに開催いたしました。インフルエンザ流行の影響もあり、10名程度の参加者となりましたが、楽しく親睦を深めることができました。ご参加いただいた皆様、ありがとうございました。

今後とも、PTA活動へのご理解とご協力をお願いいたします。

## 〔12月の行事予定〕

日	曜	行 事 等
1	金	職員会議
2	土	
3	日	
4	月	生活振り返り集会 委員会
5	火	参観日①(1・2年生) 図書 全校陶芸教室
6	水	朝会 たいせつの郷交流会(3・4年生)
7	木	参観日②(3・4年生親子レク) 旭川市PTA 北部地区教育講演会
8	金	参観日③(5・6年生親子レク)
9	土	
10	日	
11	月	図書 朝会(1年生) 租税教室(5・6年生)
12	火	図書 ALT来校
13	水	クラブ 高田夫妻読み聞かせ
14	木	わくわく日課(文化委員集会) 自動車文庫
15	金	職員研修日
16	土	
17	日	
18	月	
19	火	図書
20	水	引落日
21	木	スクールカウンセラー来校
22	金	
23	土	
24	日	
25	月	2学期終業式 図書 大掃除
26	火	冬季休業〔~1月14日まで〕 図書
27	水	
28	木	
29	金	年末年始休日〔~1/3日〕 学校閉庁日
30	土	学校閉庁日
31	日	学校閉庁日

行事予定は11月28日現在の予定で、感染拡大防止の観点から間近になって変更されることがあります。

### 《12月の生活目標》

## 「ろう下を正しく歩こう」

### <冬の登下校や遊びに行くときの注意点>

冬に発生しやすい交通事故の特徴がわかれば、事故予防の対策も見えてきます。お子様には、以下のことを注意させてください。



- ・時間に余裕をもって行動する
- ・車が見えたときは横断せずに行き過ぎるのを待つ
- ・寒い日の朝や雪が降った日は滑りやすい場所に注意する

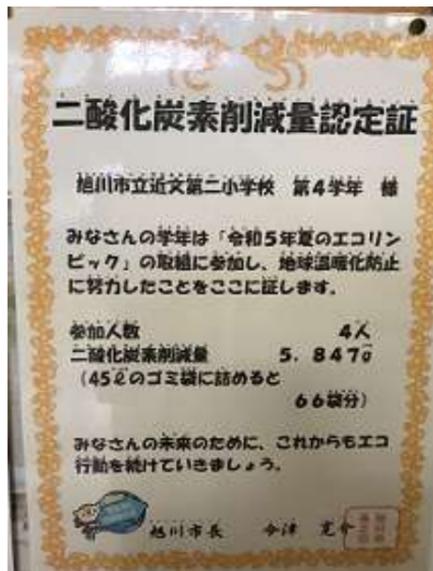
## アスリート先生(ダブルダッチ) 11月27日(月)

本校では体力向上プランの取組の一つとして「チャレンジ縄跳び」(1~3月)を行っています。北海道ダブルダッチ協会代表の日高龍太郎さんをお招きし、ダブルダッチを含む、縄跳びの楽しさを体験したり、技術を高めるための助言をいただいたりしました。また、ダブルダッチ用のロープもプレゼントしていただきました。



## ウェルビーイング・SDGsをわかりやすく

最近、TVの報道番組や新聞記事・ニュースでよく見聞きするようになった「ウェルビーイング」「SDGs」という言葉。関心を深めてもらうため、「どんな意味なの?」「小学生のわたしに、どんなことができるの?」と疑問に思っている子へのヒントになるコーナーを設置しました。



## 読み聞かせ(PANDORA)1・2年生 11月27日(月)

3回目となる読み聞かせは1・2年生を対象に行いました。オリジナルの物語を、手作りの紙芝居で読み聞かせていただきました。お友達を理解し、仲良くしていくためのヒントがありました。



## 近文第二小学校 新「体力向上」プラン

### 本校の教育目標

よく考える子 **じょうぶな子** 思いやりのある子

### 具体的な子どもの姿

〈体〉 ・楽しく運動する子 ・最後までがんばる子 ・生命を大切にする子

### 〇具体的な体力向上の目標及び指標

- ・本校児童の健やかな体の育成に向け、体力テストの各個人評定C以上を目指す。
- ・学校評価において、「外で元気に遊ぶなど、運動に親しむことができた」と回答する児童の割合9割以上を目指す。

### 児童の変容

分掌組織の企画・立案 共通理解 協働

#### 【基本的な取組】

- ◎体力づくりの継続実施
  - ・体育の始まり15分間の体づくり運動実施
  - ・休み時間に多様な遊び(ボール、一輪車、長縄、登り綱、鬼遊びなど)の推奨
  - ・休み時間・冬のグラウンド、雪山遊びの奨励
  - ・自己目標を設定し年2回の体力テストの実施
  - ・いきいきタイムの活用(マラソン、一輪車、縄跳びなど)
- ◎関連する学校行事
  - ・遠足 ・運動会
  - ・マラソン記録会 ・スキー学習

#### 【本年度の重点項目】

- ※昨年度の体力テストの結果を受けて作成
- ◎個人へのアプローチ
  - ・運動嫌いな子を積極的に遊びや運動に誘う
- ◎体育の始まり15分間の体づくり運動の実施
  - ・ストレッチ体操 ・時間走
  - ・縄跳びや瞬発力、走力を高める運動
- ◎日常生活を通じた、筋力の向上
  - ・姿勢の保持
  - ・自分たちでできることを増やす
- ◎一輪車の奨励
  - ・近二小の特色である1人1台の一輪車に、誰もが乗れるよう、縦割りでご一緒。
- ◎保護者への啓発
  - ・外遊びの奨励
  - ・目的をもった、生活振り返り週間の実施

10月からの体力づくり「いきいきタイム」では、全校で一輪車に取り組んできました。1年生たちには、5・6年生がお手本を見せたり、一緒に練習したりしてくれています。「私も上級生のように、もっと上手になりたい!」と意欲を見せています。



## いきいきタイム・体育・学校行事・日常の遊び

## 後期の授業改善の重点として取り組む視点は...

### 後期の重点

文章をよく読んで問題に答える力をつける。

### 手立て

- ・しっかりと読む必要がある文章問題を解かせる。(経験させる)
- ※問題文を最後まで読むよう指導する。先に問題文を読む習慣をつけさせる。
- ・文章の要点を確認する。キーワードをみつけさせる。
- ・メモをとる習慣をつけさせる。



本校では、全国学力調査(6年生)の結果を分析したり、教職員が実際の問題に取り組んだりするなどして、全校児童に身につけさせたい力について話し合いを行っています。

後期(10月から)の学習では、特に左記の視点も重点的に取り入れながら授業の改善を図っています。